TOSHIBA

Leading Innovation >>>

東芝パッケージエアコン
取扱説明書

天井吊形

形　名		
室内ユニット	AIC-AP405H	AIC-AP715H
	AIC-AP455H	AIC-AP805H
組み合わせ室外機はカタログをご覧ください。	AIC-AP505H	AIC-AP1125H
	AIC-AP565H	AIC-AP1405H
	AIC-AP635H	AIC-AP1605H

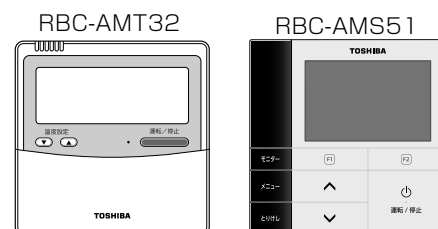
形　名(別売品)	
リモコン	RBC-AMT32(ワイヤードリモコン)

省エネメインリモコンRBC-AMS51 組合せの時は、リモコンに付属している取扱説明書をお読みください。

RBC-AMT32

RBC-AMS51

もくじ

安全上のご注意 ……… 2
リモコンのなまえとはたらき ……… 3
各部のなまえ ……… 4
正しい使いかた ……… 4
タイマー運転 ……… 5
オートグリルパネルの操作方法 ……… 5
風向調節 ……… 6
セーブ運転 ……… 7
乾燥運転 ……… 7
お手入れ ……… 7
このようなときには ……… 8
知っておいていただきたいこと ……… 9
故障診断 ……… 9
据付について ……… 10
点検整備について ……… 10
仕様 ……… 10
保証とアフターサービス ……… 16

- このたびは東芝パッケージエアコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書と室外機に付属されている取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。また、お使いになる方が代わられた場合は必ず本書をお渡しください。
- 据付説明書を販売店または工事店から必ず受け取って保存してください。
- 保証書を必ずお受け取りください。

日本国内専用品
Use only in Japan

安全上のご注意

商品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠警告	"取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定される内容"を示します。
⚠注意	"取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定される内容"を示します。

＊1: 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明

図記号	図　記　号　の　意　味
	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

⚠警告

据え付けは、お買い上げの販売店または据え付け専門業者に依頼する
据え付けには専門の知識と技術が必要です。
お客様ご自身で据え付けを行うと、火災・感電・けが・水漏れの原因になります。
強　制

別売品は、必ず弊社指定の製品を使用する
指定以外の製品を使用すると、火災・感電・水漏れなどの原因になります。また、取り付けは専門の業者に依頼してください。
指定製品を使用する

可燃性ガスが漏れるような場所を設置場所に選ばない
万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると発火・火災の原因になります。
禁　止

長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎない
体調悪化・健康障害の原因になります。
禁　止

異常時（焦げ臭い、冷えない・暖まらない、内部に水や異物が入った等）は、運転を停止して、漏電ブレーカーを切る
そのまま使うと、火災、感電の原因になります。
修理をお買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターへご依頼ください。
強　制

エアコンが冷えない・暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつと考えられるので、お買い上げの販売店に相談する
冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理内容をサービスマンに確認する
エアコンに使用されている冷媒は安全です。
冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
冷媒漏れの修理の場合は、漏れた箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認してください。
強　制

自分で分解・改造・修理・移設をしない
火災・感電・けが・水漏れの原因になります。
修理・移設は、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターへご依頼ください。
分解禁止

小部屋に据え付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策を行う
限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据え付けてください。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。
限界濃度を超えない対策をする

アース工事が正しくされているか確認する
アース工事が不完全な場合は、感電の原因になります。
確認方法については、据え付けをおこなった販売店、又は据え付け専門業者へ問い合わせください。
強　制

空気の吹出口や吸込口などから物（金属、紙、水など）を差し込んだり、中に入れたりしない
内部でファンが高速回転していたり、高電圧箇所があるため、けがや感電の原因になります。
禁　止

配管工事が正しく行われているか確認する
既設配管を使用される場合は、正しく施工しないとエアコンが故障したり、冷媒ガスが漏れたりすることがあります。
正しく施工されていることを据付業者に確認してください。
据付に関することは据付説明書をご覧ください。
R410A専用のツール、配管部材を使用してください。
専用の配管部材を使用していなかったり、据付けに不備があると破裂、けがの原因になります。
確認する

⚠注意

食品・動植物・精密機器・美術品の保存や、船舶・車両などの特殊用途には使用しない
品質低下やエアコンの故障の原因になることがあります。
禁　止

漏電ブレーカーが正しく取り付けられているか確認する
漏電ブレーカーが正しく取り付けられていないと感電の原因になることがあります。
確認方法については、据え付けを行った販売店、又は据え付け専門業者へ問い合わせください。
強　制

燃焼器具と一緒に運転するときや、密閉した部屋で使用するときは換気をする
換気が不十分な場合は、酸素不足により窒息の原因になることがあります。
強　制

エアコンの風が直接あたる場所で燃焼器具を使わない
燃焼器具の不完全燃焼により、窒息の原因になることがあります。
禁　止

エアコン本体を水洗いしない
感電の原因になることがあります。
禁　止

室外機の上に乗ったり、物を載せない
落下・転倒などによりけがの原因になることがあります。
禁　止

可燃性スプレーなどをエアコンの近くに置いたり、エアコンに直接吹きかけない
発火の原因になります。
禁　止

1年に1度は、室外機の据付台などが傷んでいないか点検する
傷んだ状態で放置するとユニットの落下・転倒によりけがの原因になることがあります。
強　制

エアコンのクリーニングはお買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターに依頼する
誤った方法で洗浄を行うと、樹脂部品の破損や電気部品の絶縁抵抗が不良等が発生して故障の原因となったり、最悪の場合は水漏れ、感電あるいは発煙・発火につながる恐れがあります。
指　示

エアコンの風が直接あたる場所には動植物を置かない
動植物に悪影響を与える原因になることがあります。
禁　止

ドレン配管が、確実に排水するように施工されているか確認する
配管工事に不備があると水漏れをおこし、家財などをぬらす原因になります。
ドレン排水を確認する

ユニットの上に花びんなどの液体の入った容器を置かない
ユニット内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電の原因になることがあります。
禁　止

掃除をするときは、必ず運転を停止して漏電ブレーカーを切る
内部でファンが高速回転していますのでけがの原因になることがあります。
強　制

濡れた手でボタンを操作しない
感電の原因になることがあります。
禁　止

電源は必ず定格電圧でエアコン専用回路にする
故障、火災の原因になることがあります。
エアコン専用回路になっているか確認する

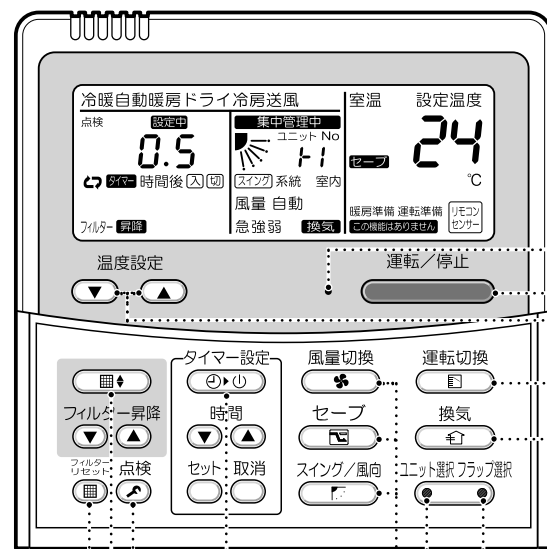
正しい容量の漏電ブレーカー以外は使用しない
電源は必ず定格電圧でエアコン専用の回路をご利用ください。
正しい漏電ブレーカーを使用する

エアフィルターを水洗いした後は、水気をふき取って陰干しする
水気が残っていると感電の原因になることがあります。
強　制

エアフィルター着脱時、不安定な台に乗らない
転倒などけがの原因になることがあります。
禁　止

リモコンのなまえとはたらき

操作部

●このリモコン1台で、室内ユニットを最大8台まで運転することができます。
●一度運転内容を設定すると、その後は運転／停止ボタンを押すだけでご使用になれます。

運転ランプ
運転中に点灯します。
異常時、保護装置動作時は点滅します。

運転／停止ボタン
ボタンを押すとまもなく運転、もう一度押すとまもなく停止します。

温度設定ボタン
室温調節をします。
▼▲ を押してお好みの設定温度に合わせます。

おすすめ温度
冷房(26～28℃)
暖房(22～24℃)

運転切換ボタン
お好みの運転モードを表示選択します。

換気ボタン
市販の換気扇等を接続したときに使用します。換気ボタンを押すと換気扇が運転、停止します。エアコンを運転、停止したときは、換気扇も同時に運転、停止します。
※換気ボタンを押したとき、リモコンの表示部に この機能はありません が表示された場合は換気扇が接続されていません。

ユニット選択ボタン
1台のリモコンで室内ユニットを複数台運転している場合、風向調節時や昇降グリルの操作時にユニットを選択します。

フラップ選択ボタン
●天井吊形にはこの機能はありません。

風量切換ボタン
お好みの風量モードを表示選択します。

セーブボタン
セーブ運転時に使用します。
※ROB−AP＊＊＊タイプ室外機との組合せでは本機能は、使用できません。

スイング／風向ボタン
自動スイングやフラップの角度を設定します。

フィルターリセットボタン
「フィルター」表示をリセット（消灯）します。

フィルター昇降ボタン
別売のオートグリルパネル・オートグリルキットを取り付けたときに使用します。

点検ボタン
サービス時に使用します。
※通常は使用しないでください。

タイマー設定ボタン
タイマー設定時に使用します。

リモコンセンサー
通常は室内ユニットの温度センサーが温度を感知していますが、リモコン周辺の温度を感知させることもできます。詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。
●グループ制御時は設定しないでください。

表示部

●漏電ブレーカーを最初に入れたとき、リモコンの表示部に 設定中 が点滅します。
この表示中は自動機種確認中ですので 設定中 が消えた後リモコンの操作を行ってください。

運転切換表示
お好みの運転モードを表示します。

設定中表示
タイマー設定中等に表示します。

タイマー時間表示
タイマーの時間を表示します。
（異常時には点検コードを表示します）

点検表示
保護装置動作時および異常時に表示します。

集中管理中表示
集中管理リモコンなどと組み合わせてご使用の場合に表示します。集中管理側でリモコン禁止を設定している場合、運転／停止・運転切換・温度設定のボタンを操作したとき 集中管理中 が点滅し、変更を受け付けません。（集中管理モードにより、リモコンで設定出来る内容が異なります。詳しくは集中管理リモコンの取扱説明書をご確認ください）

乾燥運転
乾燥運転中に表示します。

ユニットNo表示
ユニット選択ボタンで選択されている室内ユニットや異常表示をしている室内・外ユニットのユニットNoを表示します。

設定温度表示
選択した設定温度を表示します。

フラップ位置表示
フラップの位置を表示します。

リモコンセンサー表示
リモコンセンサー使用時に表示します。

フィルター表示
この表示が点灯したらエアフィルターの掃除をしてください。

昇降グリル表示
別売のオートグリルパネル・オートグリルキットを接続したとき、フィルター昇降ボタンを押すと表示します。

タイマー設定表示
タイマー設定ボタンを押すと、
切 切タイマー➡ 切くり返し切タイマー➡ 入 入タイマー ➡表示なし
の順に切り換わります。

試運転表示
試運転中に表示します。

スイング表示
フラップの上下動作中に表示します。

運転準備表示
機種によって表示する場合があります。

機能なし表示
ボタンを押しても機能がないときに表示します。

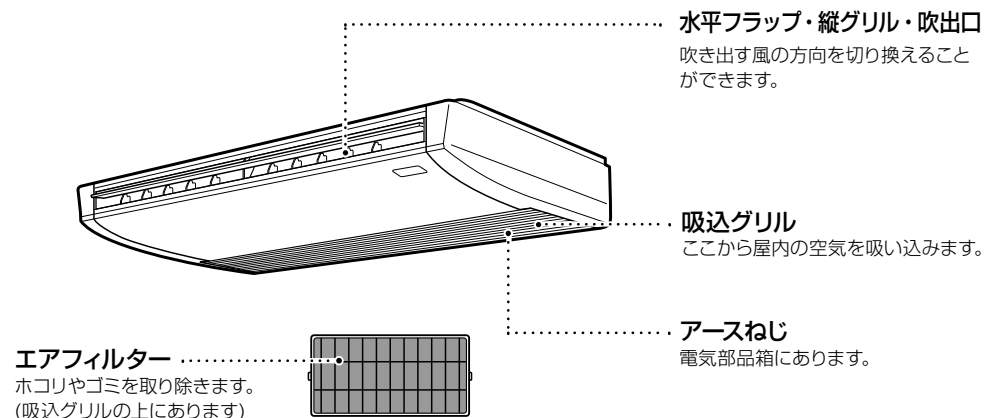
暖房準備表示
暖房運転開始時または除霜運転時に表示します。
表示中は室内送風機が停止、または送風運転になります。

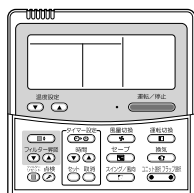
セーブ運転表示
室外機の能力をセーブし一時的なピークカット運転中に表示します。

換気運転表示
市販の換気扇等を接続したとき、換気扇が運転中に表示します。

風量切換表示
選択した風量モードを表示します。風量 自動・風量 急・風量 強・風量 弱のいずれかを表示します。

各部のなまえ

室内ユニット

別売品

リモコン

●この標準リモコン以外に「集中管理リモコン」などを併用した応用制御については各リモコンに付属の説明書をご覧ください。

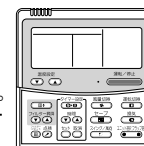
正しい使いかた

はじめてお使いのときや設定を変えるときは、次の手順で操作してください。
次回から 運転／停止 ボタンを押すだけで操作した設定内容の運転を開始します。

準備

漏電ブレーカーを入れる

●電源が入ると、リモコン表示部に仕切線が表示されます。

※電源が入ったあと、約1分間はリモコンが操作を受けつけませんが、故障ではありません。

お願い

●使用期間中は漏電ブレーカーを切らないでください。
●長期間停止後／運転開始をするときは**12時間以上前に**漏電ブレーカーを入れてください。

運転のしかた

1 運転／停止 **を押して運転する**

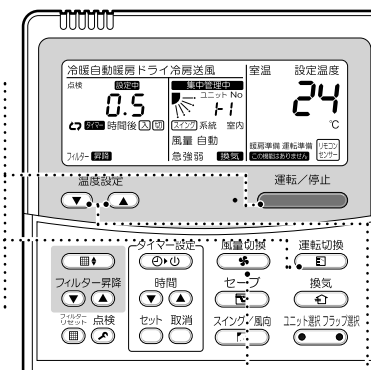
● 運転ランプが点灯します。

2 運転切換 **を押して「運転の種類」を選ぶ**

● ボタンを押すたびに運転表示がかわります。

冷暖自動 → 暖房 → ドライ → 冷房 → 送風

3 運転／停止 **を押して運転を止める**

● 運転ランプが消えます。
● 冷暖自動（冷房時）・ドライ・冷房運転時（10分以上）は、乾燥運転を始めます。

風量を変えるとき

風量切換 **を押して選ぶ**

● 押すたびに表示がかわります。 風量自動 → 風量 急 → 風量 強 → 風量 弱
● 暖房時、風量「弱」で運転して暖まりがよくない場合は、風量を「急」・「強」に切り換えてください。
● 温度センサーが感じる温度は室内ユニット吸込口付近の温度ですので、据付状態により室温とは多少異なります。設定数値は室温の目やすです。（送風時は風量自動を選べません）

温度を変えるとき

温度設定 ▼ ▲ **を押して選ぶ**

● ▲ を押すと温度が上がり、▼ を押すと温度が下がります。（送風時は温度の設定ができません）

おすすめの設定温度

暖房	22～24℃
ドライ	室温より2～3℃低め
冷房	26～28℃

お知らせ

冷房のとき

● 約1分後に運転を開始します。

冷暖自動のとき

● 設定温度と室温の差によって暖房・冷房運転を自動的に切り換えます。

暖房のとき

● 暖房運転の場合は停止後30秒ほど送風運転を続ける場合があります。
● 暖房運転開始時、室内送風機は停止したままで3～5分間予熱運転した後、温風を吹き出します。（リモコン表示部の「暖房準備」表示が点灯します）
● お部屋の温度が設定温度に達して、室外機が停止しているときは微風となり風量が極端に小さくなります。

タイマー運転

3 つのタイマーの種類が選べます。（168 時間の設定ができます）

切タイマー	繰り返し切タイマー	入タイマー
設定時間になると運転を停止します。	毎回、設定時間後運転を停止します。	設定時間になると運転を開始します。

タイマー運転のしかた

1 タイマー設定 を押す

● ボタンを押すたびにタイマーの表示（種類）が変わります。

● 設定中 と時間表示が点滅します。

2 ▼▲ を押して「設定時間」を選ぶ

● ▼又は▲を押すごとに設定時間が0.5時間（30分）単位で増減します。1d（24時間）以上は1時間単位で増減します。設定の上限は7d（168時間）です。

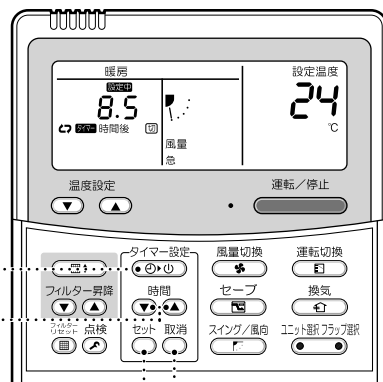
リモコンの表示例

●23.5Hの場合　設定中 23.5

●34Hの場合　設定中 1d 10h

1日と10時間

3 セット を押す

● 設定中 が消えて時間表示が点灯し、入または切が点滅します。（入タイマーのときは時間表示、タイマー 時間後 入 以外の表示が消灯します。）

タイマー運転取り消しのしかた

取消 を押す

● タイマー表示が消えます。

お知らせ

● 繰り返し切タイマーは、設定時間後に運転を停止したあと、再び 運転／停止 を押すと運転を再開し設定時間後運転を停止します。

● エアコンを切タイマー機能にて運転中に スイング／風向 を押した場合、タイマー機能の表示が消灯しますが、約 5 秒後に再点灯します。これは、リモコン内の処理によるもので、異常ではありません。

オートグリルパネルの操作方法

（別売のオートグリルパネルを取り付けてある場合）

●昇降グリルの操作（下降・停止・上昇）を行うとき、操作ボタンを押してから、昇降グリルが下降・停止・上昇するまで数秒、時間がかかります。

●オートグリルについての詳しい説明は、オートグリルパネル・オートグリルキットに付属されている取扱説明書をご覧ください。

操作のしかた

1 ▦♦ を4秒以上押す

● リモコンに“フィルター 昇降”が点滅します。（室内ユニットの運転は停止します）

※ この機能はありません が表示されたとき、オートグリルパネル・オートグリルキットは接続されていません。

2 ユニット選択 フラップ選択（ボタン左側）を押して、操作する室内ユニットを選択する

● 1台のリモコンで室内ユニットを複数台運転している場合（グループ制御）、リモコンに“ユニット No”が表示されます。

● ユニット選択 フラップ選択（ボタン左側）を押すごとに次のように切り換わります。

（例）室外ユニット1台に室内ユニット4台接続

ユニット No 1−1 → ユニット No 1−2 → ユニット No 1−3 → ユニット No 1−4 → ユニット No ALL（一斉） → ユニット No 1−1

3 フィルター昇降 ▼ を押す

● 昇降グリルは、ゆっくりと降りてきます。障害物に当たったとき、昇降グリルは停止します。

4 運転／停止 を押して停止させる

● 昇降グリルの下降、上昇が停止します。停止を押さないで下げていくと、約2m下降したところで停止します。

※下降中または上昇中に次の操作を行うときは必ず、一度停止をしてから行ってください。

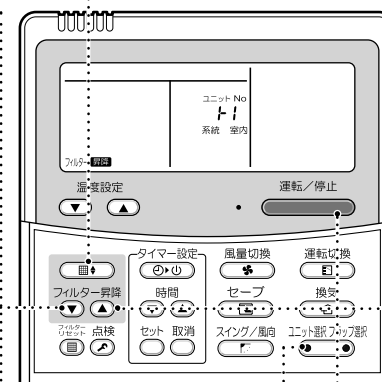
5 フィルター昇降 ▲ を押す

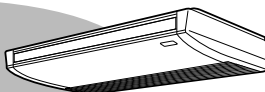
● 昇降グリルが上昇します。昇降グリルが吸込口に、きちんと収まると数秒後にモーターが停止します。

※モーターが停止したことを確認してください。

6 ▦♦ を押す

● リモコンの“フィルター 昇降”が消え 設定中 が点滅します。

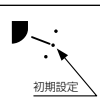
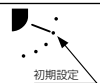
※昇降グリルが動作中に ▦♦ を押すと昇降グリルは停止して、リモコンの表示が消えます。再度、昇降グリルを動かしたいときは、『1』に戻ってください。

風向調節

●停止時には水平フラップ（上下風向調節板）が自動的に閉じます。
●暖房準備時には水平フラップ（上下風向調節板）が上向きになります。また、スイングは暖房準備解除後に行いますが、リモコンには暖房準備中でもスイング表示されます。

風向きを設定するときは

運転中に スイング／風向 を押す

●ボタンを押すたびに風向きが変わります。

暖　房　時
水平フラップは下向きにしてください。上向きにしますと温風が足元まで届かないことがあります。
初期設定

冷房・ドライ時
水平フラップは上向きにしてください。下向きにしますと吹出口付近に露が付着したり、滴下することがあります。
初期設定

送　風　時
お好みの風向に設定してください。
初期設定

スイングさせるときは

スイング／風向 を押し、水平フラップ（上下風向調節板）の向きを1番下に設定し、もう1度 スイング／風向 を押す

● スイング が表示され、フラップがスイングします。

すべての運転時　スイング　⇔（くり返し）　スイング

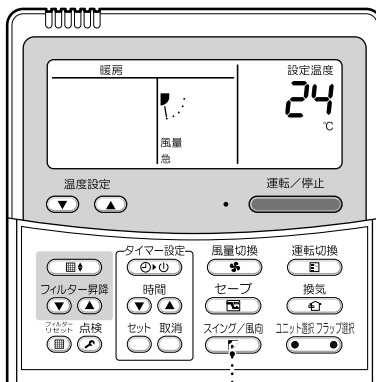
スイングを止めるときは

水平フラップのスイング中にお好みの位置で スイング／風向 を押す

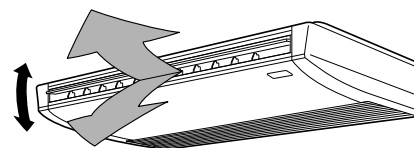
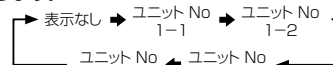
●その後 スイング／風向 を押すと再び風向きを1番上から設定できます。

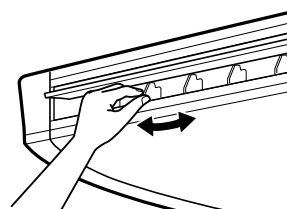
※ただし、スイング中に スイング／風向 を押しても右記表示となり、風向きを1番上に設定することができないことがあります。この場合は、2秒後にもう一度 スイング／風向 を押してください。

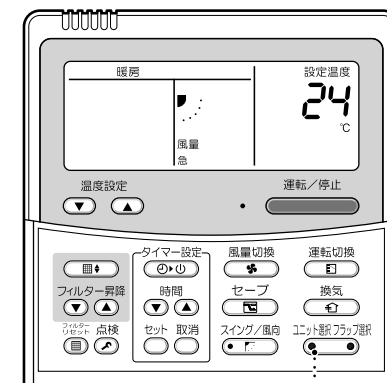
スイングを止めたときの表示
送風・暖房時　冷房・ドライ時

※冷房・ドライ時には水平フラップは下向きでは止まりません。スイング中に水平フラップ下向きの状態で止めても、上から3番目の位置まで動いてから止まります。

スイングを止めたときの表示
送風・暖房時　冷房・ドライ時

ユニット選択ボタンについて

● 1台のリモコンで複数の室内ユニットを運転している場合、室内ユニットを選択して、それぞれの室内ユニットの風向設定ができます。
● 個別に風向設定するときは ユニット選択 フラップ選択 (ボタン左側)を押し、グループ制御されている室内ユニットNoを表示します。表示されている室内ユニットに対して風向きを設定してください。
● 表示なしの時は、室内ユニットを一斉に操作することができます。
● ユニット選択 フラップ選択 (ボタン左側)を押すごとに次のような順序で表示が切り換わります。

左右風向調節

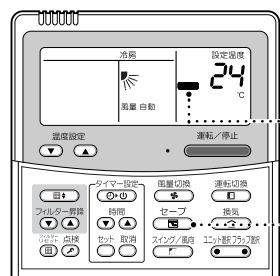
● 吹出方向を左右に変更する場合は、水平フラップの内側にある縦グリルをお好みの方向にむけてください。

お知らせ

● 下吹き出しの状態で冷房運転しますと、キャビネットや水平フラップの表面に露がつき滴下することがあります。
● 水平吹き出しの状態で暖房運転しますとお部屋の温度むらが大きくなることがあります。

セーブ運転

セーブ運転をするには運転中に セーブ ボタンを押す

- パワーをセーブしたセーブ運転モードになります。
- セーブ の表示が出ます。

セーブ運転を取り消すときには、もう一度 セーブ ボタンを押す

- セーブ の表示が消えます。

お知らせ

- セーブ運転モードは他の電気製品を同時に使うとブレーカーがおちる場合等に使います。また、省エネの目的でもお使いください。
- セーブ運転では、エアコンの能力をおさえた運転になりますので、よく冷えない（暖まらない）ことがあります。（最大電流値が約75%になります（出荷時設定））
- セーブ運転中に運転停止・運転切換・電源リセットを行っても、次回運転時セーブモードは保持されます。

セーブ運転の内容設定をするには

ROB-AP＊＊＊タイプ室外機との組合せでは本機種は、使用できません。また、ROA-AP＊＊＊4H／4HS及びROA-HAP＊＊＊1HS以前の室外機と組み合わせた場合、表示上の設定値は切り換わりますが、実際の運転は「75%固定」になります。

1 運転停止中に セーブ を長押し(4秒以上)する

- 設定中 が点滅します。

2 ユニット選択 フラップ選択 (ボタン左側)を押し設定したいユニットを選択する

- ボタンを押すたびにユニットNo.が変わります。

→ユニットNo. 1−1 → ユニットNo. 1−2 → ユニットNo. 1−3 → ユニットNo. 1−4

選択したユニットのファンが回転し、フラップがスイングします。

3 タイマー設定の ▼ ▲ でセーブボタンを押した時の能力制限値を決める

- ボタンを1回押すたびに1%刻みで100%から50%の範囲で設定できます。

※出荷時の設定は75%になっています。（運転状況によっては設定値まで下がらないことがあります。）

4 セット を押してから、点検 を押し設定を終了する

乾燥運転

冷暖自動（冷房時）・ドライ・冷房運転後に運転を停止した時にエアコンの内部を送風運転により乾燥させ、きれいな状態に保つための機能です。

- 冷暖自動(冷房時)・ドライ・冷房運転時間により乾燥運転の時間が変わります。
- 乾燥運転中はリモコン画面上に"乾燥運転"の表示をします。（3ページ参照）

乾燥運転を強制的に停止するときには 運転／停止 を2回続けて押す

冷暖自動(冷房時)・ドライ・冷房運転時間	乾燥運転時間
10分未満	乾燥運転は行ないません
10分以上1時間未満	1時間
1時間以上	2時間

お知らせ

- 運転を停止するために 運転／停止 を押してもファンが回り続けることがありますが、これは乾燥運転を行っているためで故障ではありません。また、乾燥運転中はフラップが水平位置（少し開いた状態）になります。乾燥運転が終了するとフラップは閉じます。
- 乾燥運転中は運転ランプ（LED）は消灯します。
- 乾燥運転は、お部屋をきれいにしたり、すでに発生しているエアコン内部のカビやほこりを取ることはできません。
- 乾燥運転を解除したい場合は、販売店または据付業者にご相談ください。

お手入れ

冷房・ドライ運転後は乾燥運転を行っており、送風ファンが動いています。
お手入れの際は、乾燥運転を強制終了させ、必ず漏電ブレーカーを切ってから行ってください。

⚠ 注意

- **エアコンを水洗いしない**
  感電の原因になります。
- **ぬれた手でスイッチを操作しない**
  感電の原因になります。
- **不安定な台に乗らない**
  転倒などけがの原因になります。

本体

やわらかい布でからぶきする

- 本体の汚れがからぶきで落ちないときは、40℃以下のぬるま湯ですすいだ布をよくしぼって拭いてください。

リモコン

やわらかい布でからぶきする

- 水洗いをしないでください。故障の原因となります。

お願い

- アルコール・ベンジン・シンナー・ガラスクリーナー・みがき粉などは使用しないでください。製品をいためます。
- 化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしないでください。変質したり表面がはげたりすることがあります。

長期間使わないとき

1 3〜4時間送風運転をして内部を乾燥させる

2 リモコンで 運転／停止 を押し、運転を停止して、漏電ブレーカーを切る。

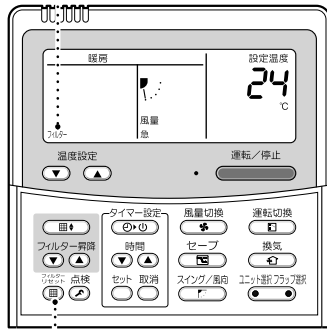
3 エアフィルター・オイルガードフィルターのお手入れをする。

定期的な点検

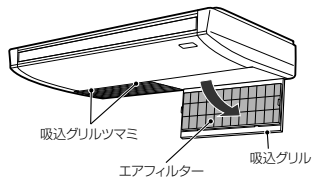
- 長時間使っていると、熱・湿気・ホコリなどの影響や使用状態により部品が劣化し、故障したり、除湿水の排水が悪くなったりすることもあります。
- 通常のお手入れとは別にお買い上げの販売店などによる点検整備（有料）をおすすめします。

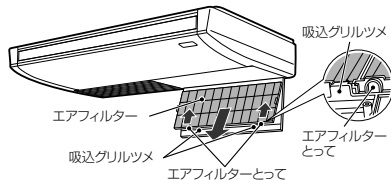
お手入れ（つづき）

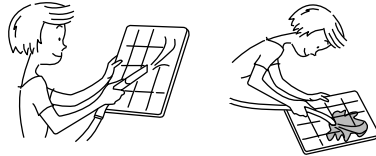
エアフィルターの掃除

●リモコンに「フィルター」が表示されたら
エアフィルターのお手入れをしてください。
●エアフィルターの目づまりは、冷・暖房効果が下がります。

●掃除が終りましたら、(フィルターリセット)を押してください。
「フィルター」表示が消えます。

1 吸込グリルを開ける

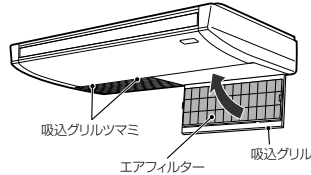
●吸込グリルの「ツマミ」を持って後側に押し（開 OPEN）吸込グリルを持ってしずかに開きます。

2 エアフィルターを取り出す

●エアフィルターのとってを押し、吸込グリルのツメをはずします。エアフィルターを手前に引くと取り出せます。

3 ホコリを掃除機で吸い取るか水洗いする。

●汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水で洗うと効果があります。

●水洗いした後は、日陰でよく乾かしてください。

4 エアフィルターを取り付ける

5 吸込グリルを閉じる

●吸込グリルを閉じ、「ツマミ」を手前側にスライドさせて確実に固定してください。

6 (フィルターリセット) を押す

●「フィルター」表示が消えます。

このようなときには

修理サービスをお申しつける前に次の点をお調べください。

	症状		原因
故障ではありません	室外機	●白い霧状の冷気や水が出る	●自動的に室外機のファンが停止し、除霜を行っているためです。
		●時々"ブシュ"という音がする	●除霜運転開始、および終了時に電磁弁が作動する音です。
		●電源投入時"カタカタカタ"という音がする	●室外機が運転準備している音です。
	室内ユニット	●時々"シュー"という音がする	●運転中や停止直後などに、水の流れるような音や、運転開始直後２～３分間運転音が大きくなることがありますが、これは冷媒の流れる音や除湿水の排水音です。
		●"ピシッ"という音がする	●運転中に、エアコンから「ピシッ」という小さな音がすることがあります。これは温度変化により、熱交換器などがわずかに伸縮するため発生する音です。
		●吹き出す風が臭う	●壁やじゅうたん、家具、衣類、タバコ、化粧品などの雑多な臭いがエアコンに付着するためです。
		●運転を停止してもファンが回転している	●乾燥運転中は熱交換器を乾燥させるためにファンが回転しています。
もう一度お調べください	運転しないとき		●停電ではありませんか。 ●漏電ブレーカーが切れていませんか。 ●保護装置が作動していませんか。 （運転ランプとリモコン表示部の点検表示が点滅している）
	よく冷えない よく暖まらないとき		●室外機の吸込口や吹出口をふさいでいませんか。 ●ドアや窓が開いていませんか。 ●エアフィルターにホコリやゴミがつまっていませんか。 ●吹出フラップが適正な位置になっていますか。 ●風量切換が「弱」または運転切換が「送風」になっていませんか。 ●設定温度が適正な温度になっていますか。

以上のことをお調べいただき、それでもなお異常のあるときは運転を停止してから漏電ブレーカーを切り、お買いあげの販売店に品番と症状をご連絡ください。なおご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。また、リモコンの液晶表示部に点検表示とC、E、F、H、L、Pのアルファベットと数字の組み合せが表示されたときは、その内容もご連絡ください。

次の症状のときはただちに運転を中止し、漏電ブレーカーを切ってお買い上げの販売店にご連絡ください。

●スイッチの作動が不確実なとき
●漏電ブレーカーがたびたび切れるとき
●誤まって異物や水を入れてしまったとき
●保護装置の作動原因(9ページ)を取り除いても運転できないとき
●その他いつもと違う状態のとき

知っておいていただきたいこと

運転前の確認

- アース線が断線したり、はずれていないか確認します。
- エアフィルター・オイルガードフィルターを付け忘れていないか確認します。
- 運転を開始する12時間以上前に漏電ブレーカーを入れます。

暖房能力について

- 暖房は室外の熱を吸収し、室内に放熱するヒートポンプ方式です。外気温が下がると、暖房能力は低下します。
- 外気温が低いときは、他の暖房器具と併用してお使いください。

暖房運転中の除霜

- 暖房運転中、室外機に霜がついた場合、暖房効果を高めるために自動的に除霜運転(約2〜10分間)になります。
- 除霜運転中は、室内ユニット、室外機の送風機は停止します。

3分間保護について

- 運転を停止してすぐに再開したときや、漏電ブレーカーを入れたときには約3分間、室外機は運転しません。これは機械を保護するためです。

停電について

- 運転中に停電した場合はすべての運転を停止します。
- 運転を再開するときは　運転／停止ボタンを押しなおしてください。

保護装置について

- エアコンに無理がかかったときに運転を停止させます。
- 保護装置が作動すると、運転が停止し、リモコンの運転ランプとリモコン表示部の点検表示が点滅します。

保護装置がはたらくとき

- 保護装置が作動し、運転を停止した場合は、漏電ブレーカーを切り、点検をしてください。
  原因を取り除かないで運転しますと、故障することがあります。
- エアフィルター・オイルガードフィルターが取り付けられているか確認してください。
  取り付けられていませんと、空気熱交換器などにホコリがつまり、水漏れの原因になることがあります。

冷房運転中

- 室外機の吸込口や吹出口がふさがれているとき。
- 室外機の吹出口に強い風が連続して吹き付けたとき。

暖房運転中

- エアフィルター・オイルガードフィルターにホコリやゴミが異常に多く付着しているとき。
- 室内ユニットの吸込口や吹出口がふさがれているとき。

漏電ブレーカーは切らないで

- エアコン使用期間中は、漏電ブレーカーを切らず、リモコンの運転／停止ボタンで操作してください。

テレビやラジオなどを離して

- エアコン本体およびリモコンからテレビやラジオなどを、1m以上離してください。映像の乱れや雑音が入ることがあります。

吹出フラップは必ず使いわけて

- 冷房運転のとき下吹出しの状態で運転しますと吹出口や吹出フラップの表面に露が付き滴下することがあります。

エアコンを上手に使っていただくため、つぎの条件で運転してください

冷房運転 ドライ運転	部屋の温度	21℃以上 32℃以下
	部屋の湿度	80%以下
	80%を超えた状態で長時間運転すると機械の表面に露が付き滴下したり、吹出口から露が吹き出すことがあります。	
暖房運転	部屋の温度	28℃以下

自動運転時の冷房運転、暖房運転もこの条件によります。
この条件以外で運転されますと保護装置がはたらき運転できないことがあります。

- 外気温度は室外機に付属の「取扱説明書」をご覧ください。

故障診断

確認と点検

エアコンに不具合が発生した場合、リモコン表示部に点検コードと室内ユニットNoが表示されます。
点検コードは、運転中にのみ表示されます。
表示が消えてしまった場合は、下記の『故障履歴の確認』に従って操作し確認してください。

故障履歴の確認

エアコンに不具合が発生した場合、以下の手順で故障履歴を確認できます。（故障履歴は4つまでメモリされます。）
運転および停止状態のどちらからでも確認できます。

手順	操　作　内　容
①	「セット」＋「点検」ボタンを4秒以上同時に押すと、しばらくして表示部が図のように表示されます。 表示部に〔サービスチェック〕が表示されると、故障履歴モードに入ったことを示します。 ・項目コードに、〔01：故障履歴の順番〕が表示されます。 ・点検に〔点検コード〕が表示されます。 ・室内ユニットNoに〔不具合が発生した室内ユニットアドレス〕が表示されます。
②	温度設定の「▼／▲」ボタンを押すごとに、メモリされている故障履歴が順番に表示されます。 項目コードは、項目コード〔01〕（最新）…→項目コード〔04〕（一番古い）を示します。 **お願い** 「取消」ボタンを押すと、室内ユニットの故障履歴が全て消去されますので、押さないでください。
③	確認できたら「点検」ボタンを押して通常表示に戻ります。

据付について

設置場所について

⚠ 注意

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所に設置されていないか確認する

万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると発火の原因になることがあります。

据付場所の確認

- 室内ユニット、室外機から出る除湿水は、水はけの良いところへ排水してください。
- 高周波を発生する機械があるところはさけてください。
- 油(機械油を含む)の飛沫や蒸気の多いところ、海岸地区など塩分の多いところ、温泉地など硫化ガスの発生するところなど、特殊な場所で使用すると故障の原因となります。
  ご使用の場合は特別な保守などが必要になりますので、販売店にご相談ください。
- 液化炭酸冷却等化学プラントには使用できません。
- 室外機の吸込口、吹出口の近くに障害物を置かないでください。放熱が妨げられ性能が低下したり保護装置がはたらき運転ができないことがあります。
- 運転音や振動が他へ伝わったり、増大しないよう、強度が十分な場所をお選びください。
- 室外機の吹出口の近くに障害物を置きますと、運転音増大のもととなります。
- **金属粉などの粉塵が発生する場所には据え付けないでください。**金属粉などがエアコン内部に付着・堆積すると自然発熱することがあり、火災の原因になります。

電気配線について

⚠ 警告

アース工事が正しく行われているか確認する

法律によりD種接地工事が必要です。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

アースを確認する

⚠ 注意

漏電ブレーカーが取り付けられているか確認する

法規上漏電ブレーカーの取り付けが必要です。漏電ブレーカーが取り付けられていないと感電の原因になります。

漏電ブレーカーの確認

正しい容量の漏電ブレーカー以外は使用しない

電源は必ず定格電圧でエアコン専用の回路をご利用ください。

正しい漏電ブレーカーを使用する

移設について

- パッケージエアコンを移設される場合は専門の技術が必要ですので、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
  なお、移設の場合は実費をいただきます。

〈フロン回収・破壊法による冷媒充填量確認のお願い〉

●この製品は地球温暖化防止のため、適正にフロン類を回収する必要があります。
●この製品の工場出荷時のフロン類の数量および、その二酸化炭素換算値は「仕様」の項目に記載しています。その二酸化炭素換算値は、接続されている室外機や接続室内機台数、接続配管長さにより異なります。システム全体でのフロン類に関する数値は、室外機に表示されています。

点検整備について

●ご使用状態によっても変わりますが、エアコンを数シーズンお使いになりますと内部が汚れ、性能が低下することがありますので、7〜8ページの日常のお手入れとは別に点検整備(有料)をおすすめいたします。

仕様

室内ユニット

室内ユニット形名		AIC-AP405H	AIC-AP455H
種類	機能	冷・暖房兼用形	
	ユニット構成	分離形	
	凝縮器の冷却方式	空冷式	
	送風方式	直接吹出形	
騒音	急 (dB)	35	
	強 (dB)	32	
	弱 (dB)	30	
総質量 (kg)		20	
外形寸法	高さ (mm)	210	
	幅 (mm)	910	
	奥行 (mm)	680	
二酸化炭素換算値 (トン)		2.1	

室内ユニット形名		AIC-AP505H	AIC-AP565H
種類	機能	冷・暖房兼用形	
	ユニット構成	分離形	
	凝縮器の冷却方式	空冷式	
	送風方式	直接吹出形	
騒音	急 (dB)	36	
	強 (dB)	33	
	弱 (dB)	30	
総質量 (kg)		20	
外形寸法	高さ (mm)	210	
	幅 (mm)	910	
	奥行 (mm)	680	
二酸化炭素換算値 (トン)		3.0	

室内ユニット形名		AIC-AP635H	AIC-AP715H	AIC-AP805H
種類	機能	冷・暖房兼用形		
	ユニット構成	分離形		
	凝縮器の冷却方式	空冷式		
	送風方式	直接吹出形		
騒音	急 (dB)	37	39	
	強 (dB)	35	36	
	弱 (dB)	33	33	
総質量 (kg)		25		
外形寸法	高さ (mm)	210		
	幅 (mm)	1180		
	奥行 (mm)	680		
二酸化炭素換算値 (トン)		3.8	3.3	4.4

仕様〔室内ユニット〕（つづき）

室内ユニット形名		AIC-AP1125H	AIC-AP1405H	AIC-AP1605H
種類	機能	冷・暖房兼用形		
	ユニット構成	分離形		
	凝縮器の冷却方式	空冷式		
	送風方式	直接吹出形		
騒音	急 (dB)	41	45	47
	強 (dB)	38	40	41
	弱 (dB)	35	37	38
総質量 (kg)		33		
外形寸法	高さ (mm)	210		
	幅 (mm)	1595		
	奥行 (mm)	680		
二酸化炭素換算値 (トン)		6.5		

●製品は改良のため仕様の一部が変わることがあります。
●室外機と組み合わせたときの冷暖房能力・電気特性は製品に貼り付けてある装置銘板をごらんください。
●組み合わせ室外機はカタログをご覧ください。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

仕様（エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく経済産業省告示第213号（平成21年）による区分名、冷暖房能力、消費電力、通年エネルギー消費効率）

AIC-AP405H、AIC-AP455H、AIC-AP505H、AIC-AP565H、AIC-AP635H、AIC-AP715H
AIC-AP805H、AIC-AP1125H、AIC-AP1405H、AIC-AP1605H

<組合せ室外機：スーパーパワーエコ>

ROA-AP405HSJ1、ROA-AP405HS1、ROA-AP455HSJ1、ROA-AP455HS1、ROA-AP505HSJ1
ROA-AP505HS1、ROA-AP565HSJ1、ROA-AP565HS1、ROA-AP635HSJ1、ROA-AP635HS1
ROA-AP805HSJ1、ROA-AP805HS1、ROA-AP1125HS、ROA-AP1405HS、ROA-AP1605HS
ROB-AP2244HS、ROB-AP2804HS

標準（シングル）

形名		40形	45形	50形	56形	63形	80形
冷房能力	kW	3.6	4.0	4.5	5.0	5.6	7.1
冷房消費電力	kW	1.05	1.28	1.51	1.86	1.64	2.46
暖房能力	kW	4.0	4.5	5.0	5.6	6.3	8.0
暖房消費電力	kW	0.960	1.16	1.23	1.47	1.53	2.16
通年エネルギー消費効率		5.2	5.0	5.0	4.9	5.4	5.1
区分名		af	af	af	af	af	af

形名		112形	140形	160形
冷房能力	kW	10.0	12.5	14.0
冷房消費電力	kW	2.63	3.63	4.57
暖房能力	kW	11.2	14.0	16.0
暖房消費電力	kW	2.58	3.50	4.32
通年エネルギー消費効率		5.6	5.2	4.9
区分名		ag	ag	ag

同時ツイン

形名		80形	112形	140形	160形	224形	280形
冷房能力	kW	7.1	10.0	12.5	14.0	20.0	25.0
冷房消費電力	kW	2.46	2.63	3.63	4.57	5.78	8.10
暖房能力	kW	8.0	11.2	14.0	16.0	22.4	28.0
暖房消費電力	kW	2.16	2.58	3.50	4.32	5.75	7.56
通年エネルギー消費効率		5.1	5.6	5.2	4.9	4.6	4.4
区分名		af	ag	ag	ag	ah	ah

同時トリプル

形名		160形	224形	280形
冷房能力	kW	14.0	20.0	25.0
冷房消費電力	kW	4.57	5.78	8.10
暖房能力	kW	16.0	22.4	28.0
暖房消費電力	kW	4.32	5.75	7.56
通年エネルギー消費効率		4.9	4.6	4.4
区分名		ag	ah	ah

同時ダブルツイン

形名		224形	280形
冷房能力	kW	20.0	25.0
冷房消費電力	kW	5.78	8.10
暖房能力	kW	22.4	28.0
暖房消費電力	kW	5.75	7.56
通年エネルギー消費効率		4.6	4.4
区分名		ah	ah

冷房能力	区分名
3.6kW未満	ae
3.6kW以上 10.0kW未満	af
10.0kW以上 20.0kW未満	ag
20.0kW以上 28.0kW未満	ah

<組合せ室外機:スマートエコ>

ROA-AP405HJ、ROA-AP405H、ROA-AP455HJ、ROA-AP455H、ROA-AP505HJ、ROA-AP505H
ROA-AP565HJ、ROA-AP565H、ROA-AP635HJ、ROA-AP635H、ROA-AP805H
ROA-AP1125H、ROA-AP1405H、ROA-AP1605H、ROA-AP2245H、ROA-AP2805H

標準（シングル）

形名		40形	45形	50形	56形	63形	80形
冷房能力	kW	3.6	4.0	4.5	5.0	5.6	7.1
冷房消費電力	kW	1.13	1.29	1.47	1.86	2.15	2.59
暖房能力	kW	4.0	4.5	5.0	5.6	6.3	8.0
暖房消費電力	kW	1.07	1.21	1.34	1.53	1.70	2.27
通年エネルギー消費効率		4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.0
区分名		af	af	af	af	af	af

形名		112形	140形	160形
冷房能力	kW	10.0	12.5	14.0
冷房消費電力	kW	3.88	4.74	5.65
暖房能力	kW	11.2	14.0	15.0
暖房消費電力	kW	3.11	4.03	4.43
通年エネルギー消費効率		4.1	4.1	3.9
区分名		ag	ag	ag

同時ツイン

形名		112形	140形	160形	224形	280形
冷房能力	kW	10.0	12.5	14.0	20.0	25.0
冷房消費電力	kW	3.88	4.74	5.65	7.00	9.84
暖房能力	kW	11.2	14.0	15.0	22.4	28.0
暖房消費電力	kW	3.11	4.03	4.43	6.15	7.80
通年エネルギー消費効率		4.1	4.1	3.9	4.6	4.4
区分名		ag	ag	ag	ah	ah

同時トリプル

形名		160形	224形	280形
冷房能力	kW	14.0	20.0	25.0
冷房消費電力	kW	5.65	7.00	9.84
暖房能力	kW	15.0	22.4	28.0
暖房消費電力	kW	4.43	6.15	7.80
通年エネルギー消費効率		3.9	4.6	4.4
区分名		ag	ah	ah

同時ダブルツイン

形名		224形	280形
冷房能力	kW	20.0	25.0
冷房消費電力	kW	7.00	9.84
暖房能力	kW	22.4	28.0
暖房消費電力	kW	6.15	7.80
通年エネルギー消費効率		4.6	4.4
区分名		ah	ah

<組合せ室外機：スーパーパワーエコ暖太郎>

ROA-HAP802HS、ROA-HAP1122HS、ROA-HAP1402HS、ROA-HAP1602HS

標準（シングル）

形名		80形	112形	140形	160形
冷房能力	kW	7.1	10.0	12.5	14.0
冷房消費電力	kW	1.83	2.81	3.94	4.87
暖房能力	kW	8.0	11.2	14.0	16.0
暖房消費電力	kW	2.03	2.76	3.42	4.20
通年エネルギー消費効率		4.8	5.1	4.9	4.8
区分名		af	ag	ag	ag

同時ツイン

形名		80形	112形	140形	160形
冷房能力	kW	7.1	10.0	12.5	14.0
冷房消費電力	kW	1.83	2.81	3.94	4.87
暖房能力	kW	8.0	11.2	14.0	16.0
暖房消費電力	kW	2.03	2.76	3.42	4.20
通年エネルギー消費効率		4.8	5.1	4.9	4.8
区分名		af	ag	ag	ag

MEMO

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エアコン空調換気ご相談センター

フリーダイヤル **0120-1048-00**

受付時間：365日 9:00〜20:00

携帯電話・PHSなど **03-5326-5038（通話料：有料）**

FAX 045-461-3493（通信料：有料）

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（別添）

この東芝パッケージエアコンには、保証書を別途添付しております。

●保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●この東芝パッケージエアコンの保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

●パッケージエアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後9年です。

●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

冷媒漏えい点検実施のお願い (JRA GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく)

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持していただくために、また、冷媒フロン類を適切に管理していただくために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる冷媒漏えいの確認などの総合的なサービスも含む）をお願いします。（有償）

定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者による「漏えい点検記録簿」によって、機器を設置したときから廃棄までのすべての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いします。

修理を依頼されるときは（出張修理になります）

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、漏電ブレーカーを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。修理は専門の技術が必要です。

■保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。
保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理すればご使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

技術料・部品代・出張料などから構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

■ご連絡していただきたい内容

品名	パッケージエアコン	
形名		
お買い上げ日	年　月　日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。	
お名前	電話番号	訪問希望日

記入されておくと便利です。

お買い上げ店名	
電話番号	電話（　　　）

東芝キヤリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原 336 番地

SN:EH99935801-①